## 一般質問通告表

令和4年第1回姶良市議会定例会(2月18日)

1 1 H	<b>4 「戸井井 ) マ 戸 ) ふふ</b> .	ナテルザケのナンチュマートルナック	+ =
1. 和田 里志 	1. 「成熟に向けた	市長は新年のあいさつで、これまでの	市長
	成長」について	10年は新市を形成する基礎作りであっ	教育長
		た。これからの10年は、具体的に次の	
		5項目	
		(1)インフラ整備	
		(2)安心・安全な生活環境作り	
		(3)教育や子育て環境の充実	
		(4) 防災意識の向上	
		(5) 市職員の意識改革など	
		を掲げ、姶良市は、成熟に向けた成長	
		をめざしますとした。	
		10年後の姶良市がどうなっているの	
		か予測することは難しいが、少なくとも	
		未来の子どもたちが安心して暮らせるよ	
		うなまちであるように、これからも努力	
		していくと述べた。	
		そこでこれらについて、その現状認識	
		と今後の具体策・課題について問う。	
2. 岩下 陽太郎	1. 行財政改革につ	本市の財政状況は、少子高齢化の進行	市長
	いて	や社会保障関係経費・公債費等の義務的	教育長
		経費が高い水準で推移することが予想	
		され、今後も厳しい状況が続くものと	
		見込まれている。	
		将来にわたり安定した行政サービスを	
		提供できる持続可能な財政基盤を確立す	
		るためには、市税等の収納率のさらなる	
		向上や、新たな財源確保策の推進により、	
		歳入の確保に努めなければならない。	
		その上で、個々の事業の目的と成果を	
		明確にし、事業を推進するにあたり無駄	
		がないかの検証と事業の効率化を図りな	
		がら経費節減に努める必要がある。	
	<u> </u>	ペーン川工具をドグバーファンコンピータイプリンの	

そうした厳しい財政運営が求められるなか、財政の健全化を図るためにも、新しい「技術」を積極的に活用し、市民の暮らしの安心・安全を守るとともに、人口減少対策をはじめ、姶良市が将来にわたり持続的発展を遂げ、まちの魅力を高めていく取組を着実に進めていく「新しい行政のあり方」が求められている。

さらに、限られた財源と人員で新たに 発生する行政課題に即応できるように、 柔軟で機能的な組織体制の整備と、自ら イノベーションを起こせる人材の育成に 努めることも必要である。

そこで、以下の内容を問う。

- (1) 当初予算策定にあたり、各事業の 目的や成果目標を精査し、事業の 廃止・縮小・統合を進めるための作業 としてどのような作業を行ったのか。
- (2) 令和4年度予算策定の際に各部署から提案のあったすべての事業のうち、所期の目的が既に達成された事業、事業の目的が他部・課(局)の事業と重複している事業、費用対効果の低い事業と判断された事業はそれぞれいくつあったのか。
- (3)近年、予算要求にあたっては、 基本的に「ゼロベース」からの徹底し た見直しを行うこととされているが、 各部署においてしっかりと対応できて いるのか。
- (4)業務プロセスのデジタル化による 業務の効率化やスピードの向上などが 現時点で図られているのか。
- (5) 国が進めるDX (デジタル・トランスフォーメーション) への現時点での対応と姶良市において今後どのような展望となっているのか。

		(6) 新庁舎にかわることにより近未来 の市役所が実現されるのか。また、 行財政改革の観点から市民の利便性 向上と業務効率化を含めて考えを 示せ。 (7) 時代の変化にスピード感をもって 柔軟に対応できる組織運営と人材の 育成が急務であるといえるが、現状の 体制をどのように評価しているのか。	
3. 萩原 哲郎	1. 市内の道路・側溝整備について	(1) 令和3年6月紀 で、「市道 に 所 で 所 で 所 で 所 で 所 で 所 で 所 で 所 で 所 で 所	市長

(2) 姶良ニュータウンは、造成以来 約43年を経過し、道路に傷みの酷い 箇所が多く見られる。

そこで以下について問う。

①姶良ニュータウン入口交差点付近 の、路上傷み等の箇所は補修工事を 行っても雨等ですぐ穴があく。全体 的舗装整備が必要と思うが考えを 問う。

また、側溝蓋の隙間や他の場所も ニュータウン全般的に点検を行い、 悪い場所は整備が必要と思うがどう か。

- ②松陽台公園横の階段手すり等の錆が 酷い。早いうちに整備が必要と思う が考えを示せ。
- (3) 触田・鍋倉線の高速横、触田・森山交差点間と運動公園西側の出入り口は工事車両の出入りも終わりに近づいている。道路工事はいつから始まるのか。
- (4) 城瀬自治会のイケダパン流通センター横の道路は、大型トラックの通行が多く以前よりも傷みが酷くなっている。近くには福祉施設も設置され、騒音も懸念される。今後、地質調査を行い、舗装整備を検討していくとの答弁であった。その後の進捗状況を問う。

2. 山之口自治会の 住宅外壁問題につ いて 平成16年4月イケダパン工場周辺の 環境問題解決への協力依頼の陳情が採択 されてから17年経過しても、何ら進展 が得られてない。

令和3年7月に山之口自治会の住宅 外壁問題について山之口公民館で話し 合いが開催された。

そこで以下について問う。

市長

(1) 工場から現在、黒ずみが出ていな い状況を住民に証を示すため、シート を白いものに交換し、ダクト周辺も 洗浄するとの話し合いでの合意であっ たが現在も汚れたままの状態である。 どうなっているか問う。 (2) 昨年、山之口自治会代表者から、 イケダパン部長宛てに、家屋の洗浄に ついて25件の名簿が提出されたが、 何の返事も返ってこないと住民の怒り がある。どうなっているのか問う。 (3) 今後の対策を問う。 4. 森川 和美 1.ヤングケアラー 家族の介護や世話など日常的に行って 市長 いる18歳未満の子どものことをヤング 支援体制について 教育長 ケアラーという。 昨年4月に公表された国による全国 調査では、中学2年生の5.7%、 全日制高校生の4.1%が、世話をする 家族が「いる」と答え、その頻度は 「ほぼ毎日」が5割弱、平日1日に平均 約4時間を家族の世話に費やしている 実態が明らかになった。 これらのことで、学業や健康、友人 関係、さらに将来の進路まで影響すると 考えられる。 そこで以下について問う。 (1) 本市の実態調査を急ぐ必要がある と思うが、所見を伺う。 (2) 国の新規事業でヤングケアラーの 実態調査や、福祉・介護・教育などの 関係機関職員向けの研修を実施する自 治体に対し、費用の半分を補助する財 政支援を行うとあるが、考えを問う。

2. 在宅保育、在宅	(1)さまざまな事情で、在宅で子ども	市長
介護者への支援に	の保育を行っている家族、また在宅	
ついて	介護をされている家族の実態を調査	
	し、支援をすべきと考えるが、見解を	
	問う。	
	(2) 在宅保育、在宅介護家族を応援	
	する基金を創設し、寄付を募ることの	
	見解と市も一部負担する考えはないか	
	問う。	
   3.待機児童対策に	市の発表する待機児童数と、実態との	市長
ついて	差には違いがあると認識する。2月1日	
	現在での待機児童数は何人か。	
	また、現在調整中の人数はどれ位の	
	人数か。	
4. 国家賠償法第1	求償権とは、公務員に故意又は重大な	市長
条第2項の求償権	過失があった時には、国又は公共団体は	
について	その公務員に対して求償権を有するとあ	
	る。本市はそれらの事についての第三者	
	委員会などの設置はしてあるのか。	
	また、このことについての運用規定	
	など定めてあるのか。	
   5. 感染症対応の業	1月30日の新聞報道に感染症対応の	市長
務継続計画につい		教育長
T	19市町村あり、本市もその中にあると	~ 11 * *
	の事である。	
	本市は、自然災害に備えたBCP	
	(業務継続計画)に感染症対応を盛り	
	込んでいるとあるが、コロナも災害の	
	うちとは考えるが、自然災害とは異なる	
	特質的災害である。早急に策定を急ぐ	
	べきであると考えるが見解を伺う。	
	7. 2 7. 2 2. 3 2. 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	
	, I	